

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスよよぎ松山校				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	国基準を基に配置している。訓練室は広いスペースを確保しており、立って活動するスペースと、座って活動するスペースを確保し、なおかつ床材でわかりやすく視覚的にも区別できるよう工夫している	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	基準人員を基に考慮し、適切に運営している。基準人員を満たしたうえで加配の職員を配置し、専門的支援をおこなう職員も配置して運営している。	個別での対応が必要な児童や利用児童の特性上、優先順位がけてしまうことで人手不足を感じことがある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100%	0%	現状で配慮すべき身体障害を持つ児童はないが、エレベーターがなく階段の昇降時は職員が安全を配慮している。壁の撤去などできる範囲で対応をおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	支援終了後に消毒、清掃を実施している。また翌日の朝礼後室内の環境整備をおこなっている。毎月第一金曜日は安全計画に基づいて室内の点検整備をおこない、子どもたちの自線に立った環境作りを心掛けている。	活動スペースの割り振りの時間など基準を作ることでの児童たちが活動したい内容などをより自己決定しやすくなると思う。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンやリラックスルームとして個別のテントを用意している。テントについては随時利用可能としている。利用者の要望等に応じて相談、面談をおこなえるよう面談室も用意している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	毎月第一金曜日にモニタリング会議を通して確認をおこなっている。朝礼等でも職員同士で話し合い、共有できるよう努めている。内容についてはその都度記録に残し、他職員も閲覧できるようにしている	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	年に一度保護者向けの評価を実施し、結果を職員も把握するようにしている。事業所評価アンケートの周知会議として主に1ヶ月に実施し内容に伴った改善点についても協議している。	保護者アンケートなどの第3者からの意見を取り入れるための会議が少なく、会議を通して話し合いを増やすべきだと感じる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝礼時や、月に一度の職員会議の中でそれぞれ議題を持ち寄り、協議するよう努めている。改善すべき点を話し合いながら、即時支援の中に取り組める内容については実施できるよう努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	アルバイトなどの常勤勤務以外の職員からの自線などから意見を取り入れるなどして改善を図ることができている。	第三者による具体的な評価については今後検討が必要である。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部研修の案内を回観、共有し日程調整をおこない各自関心のある研修について受講している。法人内、事業所内研修も実施しており受講内容についても職員と共に、報告書の提出をおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	五領域に分けた支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。個別の支援計画書においても五領域の支援プログラムに沿った内容を記載し、保護者への周知もおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	半年に一度保護者との面談をおこない、その他学校や他事業所、学童や小児科等の受診、検査内容等について情報収集に基づいてアセスメントし、ニーズや課題を正確に把握できるよう努めて計画している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	担当者やその他職員が利用者の様子を基に毎月のモニタリングをおこない、半年に一度または必要に応じてモニタリング会議を開催し、職員全体での意見を基に計画書を作成している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書の会議を開催し、職員の意見を尋ねた上で必要に応じて計画の訂正をおこない、完成した計画書を基に月ごとにスマートステップ目標を担当者が作成し、支援を提供している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	年齢ごとに応じたアセスメントシートを使用し、日々の様子を基に記録を取って対応している。またインテーク時のアセスメントシートにも記入し、発達の様子の記録をとして残すように努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	全ての項目において計画書に反映できるよう努めて計画を立てている。利用者の日々の様子や、モニタリング内容、家庭での様子、利用者と家庭のニーズについても新しい情報を持続した上で適切な目標のもとに支援をおこなえるよう計画している。また地域支援においては学校との連携や他事業所での連携、学童との連携等もおこなった上で計画となるよう努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	おおまかに1か月分の支援プログラムを作成し、実際に当日のプログラムを担当する職員の決定後、会議や日頃の相談等を通してチームで検討できる体制を作つて対応している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動内容については月ごとに変更し、曜日によって活動内容に偏りがないよう配慮して計画している。利用者の参加意欲が低下しないよう利用者の意見を取り入れながら活動参加の意欲向上を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用者の特性に応じて個別活動、集団活動を適宜用意し、柔軟に対応できるよう準備している。またどちらかの活動のみに偏ることがないよう利用日等を考慮して計画的に支援をおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝全職員で打ち合わせと一日の流れの確認をおこない、その日の支援について共有している。ホワイトボードに個別の支援内容を記入し、打合せ後も視覚的に確認できるようにしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	支援終了後はひとりひとりの支援経過を記入し、それぞれの職員の視点から見た利用者の様子を情報交換している。また支援の内容や気づきについてもその都度確認をおこなうようにしている。	支援経過等の記入する時間はあるが、その日の振り返りを職員間で共有できる時間が少なく、情報共有ができていないことがある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	上記の支援経過は必ずダブルチェックし、記入漏れや問題点を確認している。また内容についても気になることがあれば担当を含め協議をおこない、次回の支援に向けての具体的なアプローチを検討していく。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度モニタリング会議をおこない、全職員が参加して支援の見直しをおこなっている。モニタリング会議前には必要に応じて担当指導員との個別での会議をおこない、適切な見直しに繋がるよう配慮している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	自立に向けた支援と多彩なプログラムを用意し、自己選択できる環境作りや地域交流の機会（児童館、科学館、大学生、学童との交流等）にも力を入れ、なおかつ利用者の意見を反映できるよう努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	机上課題では本児が選択できるよう準備しており、集団活動においても参加の有無については本人の意思を傾聴したうえで決定するよう努めている。また自己決定に対する責任についても助言している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当指導員の同席できるよう日程調整を心掛けている。また同席が難しい場合には職員からの情報共有を改めておこない、的確な情報を基に会議に参加できるよう努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	学校での面談、保育所等への見学や訪問、他事業所との情報共有と、障害福祉センター等での療育内容の共有等を図りながら、相談支援専門員と協力して支援の連携を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	下校時刻の把握のため、Tetoruの登録を依頼しメールでの情報確認をおこなっている。また送迎時においてプリント等での情報共有や電話での確認等もおこない、クラブ活動等により下校時刻の変更を確認している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	就学前に利用していた保育所や幼稚園等へ見学訪問をおこない、これまでの生育歴や支援の手立てについても聞き取りをおこなうことや、児童発達支援事業所からの情報提供をお願いしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	13%	引っ越しに伴い事業所等を変更する際や、中学校、高校への芯が時ににおいて当事務所内での様子等を踏まえた情報提供書を作成し、保護者の同意や依頼を受けたうえで提供するようしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	88%	13%	担当者会議等を通じて連携を図り、その都度個別に対応について協議や助言を受けている。子ども医療福祉センターでの地域実習等に参加し、支援の質の向上に努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	13%	88%	コロナ渦において関係が疎遠となっている部分もあるが、今後他事業所と併設している学童との遊びの場を設けたいと検討しており、また地域の児童館の利用についても検討している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	長崎地区中央3の子ども部会や、全大会にも参加している。管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく児童指導員等職員の参加も促進し、積極的な参加協議会等への参加を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	officialLINEを導入し、日常的に情報のやり取りができるよう配慮している。また電話や送迎時においてもその日の様子や必要な情報共有をおこなえるよう努め、面談実施や担当者会議の参画もおこなって	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	面談や普段の情報交換の中で相談・助言をおこなっている。また必要に応じて相談支援専門員と連携・相談をおこない、家族への支援について必要な社会資源の調査や提供について協議している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約・面談時に管理者がパンフレット等を用いておこなっている。また質問事項等も受け付け、わかりやすい説明を心掛けている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	利用時に子どものニーズの聞き取りや、相談支援専門員を通じて保護者のニーズの聞き取り、家族のニーズの把握のために面談の時間を調整し、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談時に支援内容や、これまでの様子、モニタリング内容、アセスメント内容について説明し、計画書を見ながら保護者にわかりやすく説明したうえで同意を得ている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談や、LINE、電話等で適宜おこなっており、悩みを傾聴できるよう努め、必要に応じて支援の方向性についても助言や検討会議をおこなうようにしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	父母の会については設置していない。昨年度は親子での参加も可能としたイベントをおこない、交流の機会を設けている。今年度についても同様に保護者や兄弟での交流を深める機会の提供について協議している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった場合は速やかに職員で共有し、今後の対応についても踏まえて協議をおこなうことや、記録として残すこと、全職員への周知を徹底することと、長崎市への報告をおこなうこととしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に一度活動予定のスケジュールを作成し、先月の様子等についても必要に応じて掲載している。またInstagramを発信し、非公開形式で内容を保護者へ発信し、定期的に更新をおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人名や写真など個人が特定される情報については取り扱いに十分注意し、写真の掲示等についても保護者に確認、同意を得てからおこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	写真やイラストカード、ICTを活用して特性に応じた伝え方についてや、筆談や書記による記録等も必要に応じておこない、伝達のトラブル等を未然に防げるよう努めている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	親子イベントなど事業所主催でおこなっている行事に参加できるようチラシなどを配布している。	具体的な実績はないが、地域の社会資源を活用しながら今後地域に根差した事業運営に向けて活動内容を検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを整備し、研修、実地訓練をおこなっている。防犯訓練についてはインスタグラムや月の行事予定の配信により周知を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	安全計画に基づいて月に一度第一金曜日に室内等の安全点検をおこない、3ヶ月に一度防災訓練を実施している。BCPの訓練を法人内と事業所内でおこない、非常災害時における食料等の管理についても月に一度おこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用者の基本情報として状況を確認している。面談では服薬に関する変更がないかも確認している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーのある児童については掲示し、常時確認できるよう工夫している。また必要に応じて医師の診断書や指示書を提供してもらい、必要に応じて緊急時における服薬の預かり等もおこなって対応している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	安全計画を作成し、月に一度の点検、整備、防災訓練や研修等への参加をおこなっている。送迎マニュアルや事故防止マニュアル、緊急事態等マニュアル等の整備、見直しを年一度おこなうよう計画して	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	13%	安全計画の内容や実地内容に関する周知については今後HPやInstagram、会報等による発信を検討している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットと思われる内容が発生した際には、速やかに報告することや詳細な内容を記録し、報告書の作成、全職員に情報共有を図っている。再発防止のための対策については特に詳細に周知し、協議をおこなうようにしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設立し、年に2回法人内研修をおこなっている。長崎県の虐待防止の関する研修への参加や、外部の研修への参加もおこなっており、職員のストレスマネジメントとして厚生労働省のストレスチェックも年に一度おこなっている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	基本的には身体拘束をおこなわないことを前提として説明をおこない、どのような場面においてどのような拘束が必要になるのか、実施する場合の手順についても説明をおこない、個別支援計画書にも記載して了解を得ている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討および導入をしていきたい。